

【千葉市】

がん検診(肺がん)チェックリスト 検診機関別回答一覧

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
	医療法人社団 呼吸医学会	石渡内科	医療法人社団 順心会 幕張マリパーククリニック	医療法人社団 幸樹会 おゆゆきのクリニック	みつわ会クリニック	公益財団法人 ちば県民保健予防財団	ヘルスクエアクリニック 川島内科・婦人科	医療法人社団 福生会 赤塚病院	医療法人社団 山紫会 谷堀病院	古川内科 病院	いなげ海 岸クリニック	医療法人社団 千葉中央クリニック	かんたけ 内科クリニック	種毛サテライトクリニック	にへい 脳外科	医療法人社団 千葉白鷺会 総合クリニック グクターランド 幕張	奈良内科 病院	山口内科クリニック	医療法人社団 順心会 がん総合診療センター	医療法人社団 順心会 がん総合診療センター	千葉中央 外科内科	今井町診療所	なかむら 医院	小浜医院	検着クリニック	花園診療所	小倉台柏戸クリニック	中村内科クリニック	千葉県勤労者医療福祉会 稲毛診療所	しよじ 内科	田那村内科小児科		
1. 受診者への説明(検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明)																																	
(1)	要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること（喀痰細胞診で要精密検査となった場合は、喀痰細胞診の再検は不適切であることなど）を明確に説明しましたか																																
(2)	精密検査の方法について説明しましたか（精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びこれらの検査の概要など）																																
(3)	精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか*																																
(4)	検診の有効性（胸部エックス線検査及び喫煙者への喀痰細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の欠点について説明しましたか																																
(5)	検診受診の継続（毎年）が重要であること、また、症状がある場合は医療機関を受診が重要であることを説明しましたか																																
(6)	肺がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか																																
(7)	禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の普及を行いしましたか																																
2. 質問(問診)、及び撮影の精度管理																																	
検診項目は、質問（医師が自ら対面で行う場合は問診）、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙者数（1日本数×年数）が600以上だった者（過去における喫煙者を含む）への喀痰細胞診としたか*																																	
(1)	質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させるとして代えることができます。また、加齢式タイプについては、「カートリッジの本数」を「喫煙本数」と読み替えます。																																
(2)	質問（問診）では喫煙歴、妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等も聴取しましたか。また最近6か月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診を中止するかすみやかに専門機関を受診し、精密検査を行うよう勧めましたか*																																
(3)	質問（問診）記録は少なくとも5年間は保存していますか																																
(4)	肺がん検診に適合な胸部エックス線撮影、すなわち、放射線科医、呼吸器内科医、呼吸器外科医のいずれかによる胸部エックス線の画質の評価と、それに基づく指導を行いましたか**																																
(5)	撮影機種の種類（直接・間接撮影、デジタル方式）、フィルムサイズ、モニタ装置の有無を仕様書***に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しましたか**																																
(6)	胸部エックス線検査に必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか																																
3. 胸部エックス線撮影の精度管理																																	
(1)	自治体や医師会から求められた場合、読影の実態（読影者の氏名、生年、所属機関名、専門とする診療科目・呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科医師の場合には専門科医師としての経験年数、肺がん検診に従事した年数、「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会**」の受講の有無等）を報告していますか																																
(2)	読影は二重読影を行い、読影に従事する医師は下記の要件**を満たしていますか																																
(3)	2名の読影者のうちどちらかが「要比較読影」としたものは、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較読影しましたか																																
(4)	比較読影の方法は、「読影委員会等を設置して読影する（あるいは読影委員会等に委託する）」、「二重読影を行った医師がそれぞれ読影する」、「二重読影を行った医師のうち指導的立場の医師が読影する」のいずれかにより行いましたか																																
(5)	ジャカステン・読影用モニタなどの機器に関しては、日本肺癌学会が定めた基準等に促しましたか**2																																
(6)	読影結果の判定は「肺がん検診の手引き」（日本肺癌学会肺がん検診委員会編）の「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と区分図」によって行いましたか																																
(7)	胸部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか																																
(8)	胸部エックス線検査による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか																																
4. 喀痰細胞診の精度管理																																	
(1)	細胞診の真陽性を委託する場合**は、その委託機関（施設名）を仕様書***に明記しましたか																																
(2)	採取した喀痰は、2枚以上のスライドに塗抹し、凍固定の上、Papanicolaou染色を行いましたか																																
(3)	固定標本の顕微鏡検査は、公益財団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行いましたか**4																																
(4)	同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングしましたか																																
(5)	がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行いましたか*																																
(6)	標本は少なくとも5年間は保存していますか																																
(7)	喀痰細胞診検査結果は少なくとも5年間は保存していますか																																
5. システムとしての精度管理																																	
(1)	受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内**になされましたか																																
(2)	がん検診の結果及びそれに関わる情報**について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか																																
(3)	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果**（診断、治療方法、手術所見、病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか																																
(4)	検診に従事する医師の胸部画像読影力向上のために「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会**」を年に1回以上開催していますか。もしくは、他施設や都道府県単位、あるいは日本肺癌学会等が主催する胸部画像の読影に関するセミナー・講習会**を年に1回以上受講させていますか																																
(5)	内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握・集計・分析のための委員会（自施設以外の専門家*を交えた会）を年に1回以上開催していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した同様の委員会に年に1回以上参加していますか																																
(6)	自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、隠性反応過中程度のプロセス指標値を把握しましたか*																																
(7)	プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言があった場合は、それを参考にして改善に努めていますか																																
調査項目1～5の合計																																	
(1)	回答(O, X)項目数	35	35	28	35	25	34	35	33	34	35	28	32	20	35	35	33	35	33	35	35	31	35	28	35	35	28	35	34	35	28	35	
(2)	実施(O)の項目数	35	35	28	35	25	34	35	33	31	35	28	32	20	35	35	32	35	27	35	35	31	35	28	35	35	27	35	34	28	28	35	
(3)	未実施(X), 実施予定(Δ)	0	0	0	0	3	0	0	2	4	0	0	3	8	0	0	3	0	8	0	0	0	3	0	0	0	0	8	0	1	7	1	0
(4)	調査対象外(-)の項目数	0	0	7	0	7	1	0	0	0	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0	6	0
(5)	評価(未記入は×とみなします)	A	A	A	A	B	A	A	B	B	A	A	B	B	A	A	B	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B	B	B	A	

※各検診機関において、○ががん検診の取組状況を調査票に基づき自己評価したものであり、第三者により客観的に評価したものではありません。

